

登録コード	A3591362	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅰ					担当教員	大窪 久美子
英文授業名	PresentationⅠ						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	プレゼン力を高める。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	プレゼン力を高める。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	プレゼン力を高める。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	プレゼン力を高める。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施する。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	課題への取り組み方と理解の程度（8割以上）、受講態度等（2割未満）を総合的に評価します。 演習の内容が概ね理解できていれば「その水準にある」、十分に理解できていたら「やや上にある」、十分に理解し、応用力があれば「かなり上にある」、とてもよく理解し、応用、さらに発展できる力が備わっていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	課題の予習と発表要旨やスライド、レポートの作成等						
(9)テストやレポートの予定	随時、テストやレポートを課す。						
(10)成績評価の方法	受講態度と最終回に提出した課題の内容						
(11)質問、相談への対応および連絡先	主担当 大窪久美子 緑地生態研究室（B棟4F） e-mail：zuiko@shinshu-u.ac.jp 電話：0265-77-1502						
(12)履修上の注意	ノートPCを使用します。 出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）						